

2021年度カリキュラム委員会総会

日時：2022年3月30日（水）18:30～（1時間程度を予定）

形式：オンライン会議

カリキュラム委員会 出席予定者(敬称略)

学部内委員：医学部長，教員8名，学生代表2名

学部外委員：保健学科長，広島大学病院長，広島大学病院医科領域臨床教育センター長，医学科後援会長，広島県医師会長，県立広島病院長 代理

審議事項

1) 委員会の趣旨と委員の構成について（資料1）

資料1について学部長より説明があった。

医学教育分野別認証で各大学に義務付けられている。日本医学評価機構が審査し、日本の大学が受審することになっている。評価基準にカリキュラム委員会の設置や教員や学生、学外の教育の関係者の代表を含む。

2) 令和三年度に実施したカリキュラム改革の概要（資料2,3,）

資料2について、旧カリキュラムと新カリキュラムの変更点について説明があった。

資料3について、令和三年度に行ったカリキュラム改革やカリキュラム改革に関する実績について説明があった。

3) 令和三年度の委員会などの活動および決定事項について(資料4)

資料4について、委員会、関係会議の活動状況と、委員会、関係会議の審議により決定した内容について説明があった。

4) 令和四年度に実施するカリキュラム改革の概要（資料5）

資料5について、次年度実施する予定のカリキュラム改革について説明があった。

5) 令和三年度に行われた教育に関する資源の活用と配分（資料6）

資料6についてシュミレータ設置の模擬病棟やVRコンテンツ、スキルスラポのシュミレータの拡張について説明があった。

6) 委員からの意見聴取

・PreCC-OSCE法改正に伴う院外実習の要件について質問があり、現状では指導医の資格や要件の変更はないが、評価等については先生方と協議しながら進める必要があると説明があった。

・後援会長から、今年の国家試験は良い成績だったので執行部への謝辞があった。既卒者もこれまでよりはよかったと思うが、国試浪人の方へも引き続きサポートをお願いしたいとコメントがあった。学部長から既卒で1~2年目の方や中には10年目くらいの方も合格したとの説明があった。

・広島県医師会長からカリキュラムが素晴らしいとコメントがあった。

・県立広島病院から、コロナ禍でも実習に引き続き協力していきたいとコメントがあった。アンプロについては大学でどのように評価されているか参考にしながら研修医の指導にも反映していきたいと説明があった。スチューデントドクターが学外病院でどのくらいのことをさせてあげられるか大学と連携をとりながら実習を実施していきたいとコメントがあった。協力病院の指導医と学生や患者が安全に進められるように情報共有しながら実施していきたい、大学でのアンプロ的は評価に関しても先生方と協議しながら進めていきたいと説明があった。学部長から学外の病院から受入をいただけるということに対して謝辞があった。また5月連休明けに実施が可能かどうか照会する予定と説明があった。

副院長から学生指導を効率よく出来ているところは次のステップに進ませるという形で進めたい。医学教育センター長から学生自身も自分がどこまで出来ているか、指導医の先生も分かるような形で協力して進めていきたいと説明があった。

・学生委員からこれまでも先生方の助力でここまで出来ているので有難いと思うが今後も学生の意見を取り入れてもらいたいとコメントがあった。

・学生委員からコロナ禍で1年生の時からオンラインの授業が多かった。

このあと医学教育センター長からアンケート Forms を送付してご意見をいただくよう予定している旨説明があった。